

「種山ヶ原は今⑳」

星空観察会（江刺ひがし小学校5年生）

8月31日種山ヶ原キャンプ合宿

夜には宇宙遊学館館長の亀谷先生を講師に星空観察会が行われ、きれいに「夏の大三角」を見ることができたそうです。更にスーパームーンそれも月による彩雲も見られたのは日頃の行いがよかったからですね。会として講師謝礼を支援しました。



9月3日 遊歩道草刈り

8月の大雨で大森林道が数ヶ所で決壊し、賢治の森への通行ができず、入口からの草刈りになった。

30日、31日 市道く星座の森～遠野>の草刈り

10月15日 遊歩道・賢治の森 10名

大森林道の決壊箇所を補修し、どうにか通れるようになったので、2週間ぶりで賢治の森まで行けるようになりました。

22日 物見山・駐車場周囲・登山口の草刈り 4名

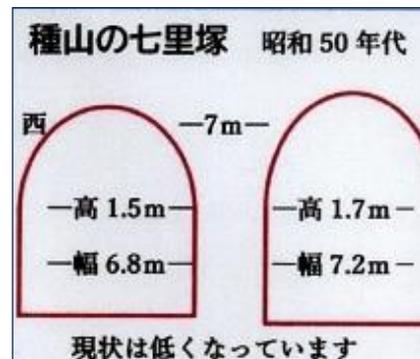
24日 種山の七里塚 く米里文化財調査委員会 6名>

米里文化財調査委員会6名の方々によって、整備していただいた。

この七里塚は盛街道の中で、次いで唯一保存されている。しかし、放牧地の中にあり、牛に踏みつけられて写真のように低くなっている。



現在約1.2mになってしまいました。



草刈りの後、七里塚から盛街道300m位下がった所にある馬頭観音の石碑を菊池敬朗さんの案内で調査しました。放牧地ですから、馬頭観音は当然のことですが、昔からこの石碑は狼に襲われて亡くなった方を吊うものということでした。

27日 70年前の天体望遠鏡復活

廃棄処分になった昔の木細工中学校の天体望遠鏡を譲り受け、胆沢町の阿部恵彦先生のお陰で復活でき、旧校舎に保存できました。レンズ等が不備で、十分に使える状況ではありませんが。米里中学校の天体望遠鏡は現在調整中です。校舎もないので、地区センターに保存しようと考えています。来年、この望遠鏡で惑星等を見たいと思います。

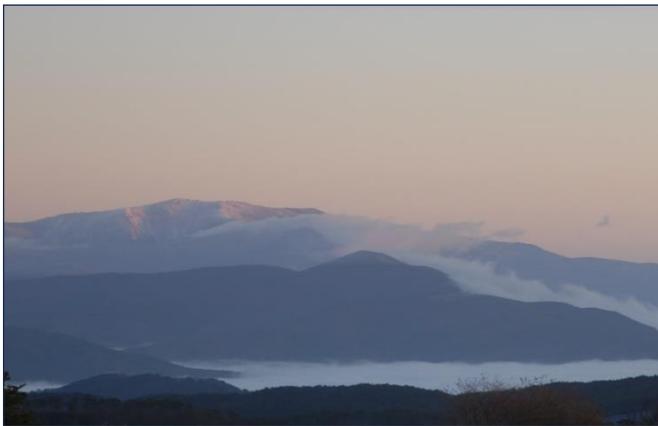
10月28日～11月15日 市道2km草刈り・枝刈りとその処理

果てしない道のりの草刈りや木々の枝刈り、そしてその処理。イバラがとても多い。来年のことを考えながら丁寧に処理したつもりだ。



11月15日 種山ヶ原の夜明け

朝4時真っ暗だ。防寒をし種山に向う。途中雄鹿が目を光らせている。不気味だ。物見山の下を遠野側に向う。風力発電の灯が転倒し、以前とは違う光景だ。5時過ぎになると白々としてくる。いよいよ夜明けだ。今日は早池峰山がきれいに見える、山頂が茜色に染まっている。岩手山は今日はいっすらと見える程度だ。



雲海はきれいに北上平野に漂い幻想的だ。



冬の使者もすでに里の下り、落穂拾いに励んでいます。

アメダスも晩秋の朝日に光っています

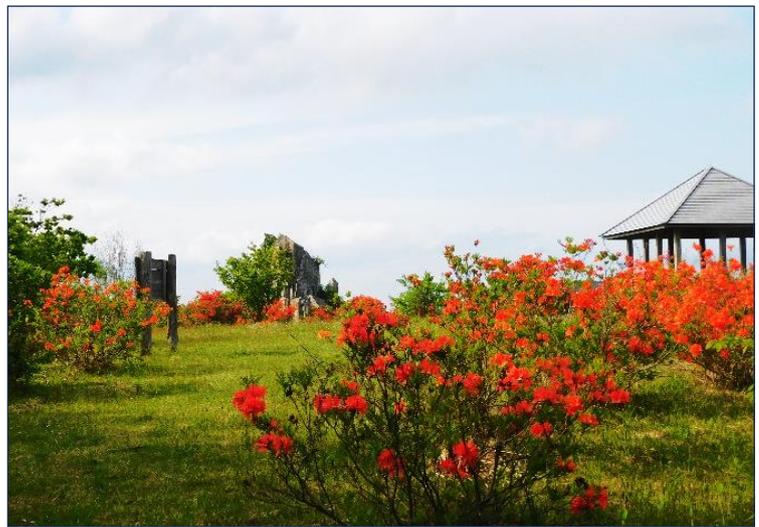
「黄昏て 紫煙漂い 山は燃え」



<レンゲツツジを守る>

物見山・物見山駐車場・
賢治の森・市道を中心に
保護活動をしてきました。

賢治の森・物見山は概ね
整備できたと思いますが、
遊歩道・市道脇の保護活動
は不十分で、草刈りの時に
枝を刈ってしまうことがある。
幼木を中心にマークして取り
組みたい。



駐車場の土手のレンゲツツジの苗が幼木を含めて現在400本を超えていますので、大切に育てていきたいと考えています。今月いっぱい取り組み、来春3月から取り組みを開始予定。

「種山ヶ原に咲く花々」

東菊



春リンドウ



夏からヤマアジサイ



秋にはツルウメモドキ



初冬 ウメモドキ

マユミ



子ぎつねも大きくなりました



「種山ヶ原の熊とヤマナシ」

宮沢賢治の「ヤマナシ」という作品がありますが、種山ヶ原にもヤマナシの木が10本程あります。川には沢蟹だけでなく岩魚もいて、一度橋の下で釣ったことがあります。すぐリリースしましたが、結構自然は守られ色々な花が咲いています。熊も時々見ていましたが、今年里に下りていると思っていました。しかし……

11月8日千葉君と星座の森から物見山駐車場までの刈払いの草や枝の処理をしていると、千葉君が「熊の糞があるぞ」という。なるほど2か所にあった。その上を見るとヤマナシの実が少し残っているだけでした。枝も折られ明らかに熊の親子が木に登って食べたらしい。

残っている実をとってみると甘い香りがします。かじってみると少し甘い。子どもの頃はもっとおいしかったと記憶している。もう少し待てばおいしく食べられたのにと。50m程離れた所にもヤマナシの木があるので、行って見ると実がいっぱいなくなっていました。

次の日行ってもやはり残っていません。不思議に思って実を比べてみるとまだ茶色が濃くまだ甘い香りがしません。熊が食べた方の実は、少し茶色が薄めた。熊は匂いで食べごろを決めていたのだと思う。さすがだ。

10日程過ぎて、種山ヶ原の点検に行くと、50mほど離れた所にあったヤマナシの木も見事に食べられていました。おいしくなっていたのでしょう。

5月

春、白い花を咲かせます。6月頃に緑色の実がつき、やがて石細胞がつき茶色になっていきます。今年は大森林道沿いのヤマナシの木は、花の時期に霜で花がきれいに咲かず、蜂も花を選んだのでしょうか。実も少ししか実りませんでした。

二十世紀ナシもヤマナシをもとに作られたそうです。ナシのご先祖さんですね。



私は週4日位種山ヶ原に行って草刈り等をしていますが、毎日のように物見山に登る人がいます。先日お会いしてお話を聞いたら、物見山にも熊の糞があったという。確かに実際は会っていないだけで、存在するのだ。

今朝のニュースで県は熊捕獲に補助金を出すという。総合的な熊の保護政策を示す中で、提示されないと誤解を招く。明治初期の狼の駆除への補助金政策で絶滅した経緯があるので、二の舞を踏まないように取り組んで欲しい。